

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響
音

Turangalila
Symphonie
Blue Concerto
2014.12.4 Suntory Hall

SYLVAIN CAMBRELING

指揮 シルヴァン・カンブルラン (常任指揮者)

Conductor SYLVAIN CAMBRELING

ピアノ アンジェラ・ヒューイット

Piano ANGELA HEWITT

オンド・マルトノ シンシア・ミラー

Ondes Martenot CYNTHIA MILLAR

コンサートマスター 小森谷 巧
Concertmaster TAKUMI KOMORIYA

・プログラム

酒井 健治
ブルーコンチェルト (読響委嘱作品・世界初演)
KENJI SAKAI: Blue Concerto
(YNSO's new commissioned piece / world premiere)

メシアン
トゥーランガリラ交響曲
MESSIAEN: La Turangalila-Symphonie

12.4

2014年 12月 4日(木) 19時開演 **サントリーホール**
The 543rd Subscription Concert / Thu, 4th Dec, 19:00 / Suntory Hall

S ¥7,200 A ¥6,100 B ¥5,100 C ¥3,600

東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001(オフィス)

東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分、銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

※当初、出演を予定していたロジェ・ムラロ(ピアノ)及びヴァレリー・アルトマン=クラヴリー(オンド・マルトノ)は、本人の都合により出演できなくなりました。

■学生券:学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■団体割引:読響チケットセンターにて同一公演の10枚以上まとめてお求めになった方に団体割引をいたします。

■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。
■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

カンブルランと読響が歩む「今」

長木誠司 (音楽評論家)

シルヴァン・カンブルランと読売日本交響楽団のコンビも、いよいよ爛熟期に入ってきた。佳境に入ったと言ってもよいかも知れない。今回の定期公演で採り上げられる大曲〈トゥーランガリラ交響曲〉は、2006年、カンブルランが読響デビューの際に採り上げた作品の再演でもある。その果敢なプログラムとデビューは、まださほど日本の音楽界に名を知られていない指揮者の「乱入」として鮮烈であったが、楽員の特性もオーケストラの能力もすべて知悉した上での今回の再演は、カンブルランが自信を持ってお勧めする定番メニューということなのだろう。モーツァルトやベートーヴェンと同じようにメシアンを繰り返し演奏する。指揮者の高い意識と見識は相変わらず大したものだが、まだまだ演奏の厄介な作品と言える〈トゥーランガリラ〉でそれを受けるオーケストラの懐も深い。

もちろん、今回は2006年デビュー時とは異なるソリストが起用されている。聴き手にとっては、読響の進境ぶりを比較して聴く楽しみと同時に、このソリストの演奏も興味あるところだ。アンジェラ・ヒューイットの演奏するメシアンとは、いったいどのようなものになるのだろうか。オンド・マルトノ・パートを今回担当するシンシア・ミラーの力量や如何? 聴きどころ満載の再演だ。

酒井健治が読響のヨーロッパ・ツアー用に書いた委嘱新作もカンブルランらしい配慮だ。評価の決まった日本人作曲家の既存作品でお茶を濁すことがない。常に「今」を考えている音楽家。急速に実力と人気を高めている若手の日本人作曲家・酒井は、メシアンと並べて演奏されることをも意識して作品を書いている。そこには、20世紀のメシアンが音の色彩の世界で切り拓いた沃地で、21世紀にどのような花が咲き、実を結ぶのかという興味もある。

年の末に、今年最大の聴きものがやってくる。そんな12月定期を、聴き逃す手はない。

指揮 シルヴァン・カンブルラン

Conductor SYLVAIN CAMBRELING

2010年から読響常任指揮者を務め、色彩豊かな音楽作りで聴衆を魅了している名匠。現在、ドイツのシュトゥットガルト歌劇場音楽総監督を務めるほか、クランクフォーラム・ウィーンの首席客演指揮者も兼任。メシアンの管弦楽作品や歌劇などの演奏で高い評価を得ており、メシアン作品で世界的名声を得ている。ベルギー王立モネ歌劇場、フランクフルト歌劇場の音楽総監督、バーテンバーテン&フライブルクSWR響の首席指揮者を歴任し、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ザルツブルク音楽祭、パリ・オペラ座などにも客演している。

ピアノ アンジェラ・ヒューイット

Piano ANGELA HEWITT

世界で最も高く評価されている人気ピアニストの一人。クリエヴァンド管、ロンドン・フィル、ベルリン・ドイツ響など世界の一流オーケストラと共演。また、バッハ作品で特に高い評価を得ており、世界各地でリサイタルを開催し、数々のCDをリリース。ナガノやリントウの指揮で〈トゥーランガリラ交響曲〉を演奏し、絶賛された。



Bernid Eberle

オンド・マルトノ シンシア・ミラー

Ondes Martenot CYNTHIA MILLAR

豊かな経験を誇る世界的オンド・マルトノ奏者。ブレヴィン、ヤンソンス、ウェルザー=メスト、ナガノ、ラトル、サロネン、ドッダメルらの指揮で、バイエルン放送響、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ロンドン響、クリエヴァンド管など一流オーケストラとメシアン(トゥーランガリラ交響曲)を120回以上、演奏している。



Lucy Dickens

Cover Art: Chiharu Kihara "The twelve zodiac signs. Bull" ©読響

読響チケットセンター 0570-00-4390

(10時~18時・年中無休)

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択してチケットをご購入いただけます。(一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く)*郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

プレイガイド:チケットぴあ 0570-02-9999、サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017、イープラス <http://eplus.jp/>

主催:読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団 助成:文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業) 協力:アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)、AIRFRANCE / エールフランス航空